

## 2004年度 第3四半期及び9ヶ月累計 連結決算概要

### 目次

	頁
平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）	1
1．概況	2
2．第3四半期の経営成績及び財政状態、財務諸表等	3
(1) 連結損益計算書	8
(2) セグメント情報	9
(3) 連結貸借対照表	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
3．9ヶ月累計の経営成績、財務諸表等	13
(1) 連結損益計算書	14
(2) セグメント情報	15
(3) 連結キャッシュ・フロー計算書	17
4．2004年度の業績見通し（連結・単独）	18
5．補足資料	19



# 平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 1 月 28 日

上場会社名 富士通株式会社

（コード番号：6702 東京、大阪、名古屋 各第 1 部）

（URL <http://www.fujitsu.com>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 黒川 博昭

問合せ先責任者 役職名 広報 I R 室長 氏名 八木 隆

TEL：（03）6252 - 2175

## 1. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	3,263,707	1.7	38,112	-	10,235	-	17,731	-
16 年 3 月期第 3 四半期	3,210,136	1.3	7,804	-	84,338	-	50,910	-
(参考)16 年 3 月期	4,766,888		150,342		49,770		49,704	

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17 年 3 月期第 3 四半期	8.77	-
16 年 3 月期第 3 四半期	25.45	-
(参考)16 年 3 月期	24.55	22.24

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17 年 3 月期第 3 四半期	3,574,686	853,041	23.9	412.50
16 年 3 月期第 3 四半期	3,780,065	690,734	18.3	345.31
(参考)16 年 3 月期	3,865,589	827,177	21.4	413.22

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17 年 3 月期第 3 四半期	83,307	97,805	172,336	215,327
16 年 3 月期第 3 四半期	44,228	94,558	129,801	288,380
(参考)16 年 3 月期	304,045	67,389	239,902	413,826

## 2. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	4,800,000	95,000	55,000	26.60

\* 上記業績予想の利用時における注意事項等については、本資料の「4. 2004 年度の業績見通し（連結・単独）」（18 ページ）を参照して下さい。

## 1. 概況

### 【事業環境】

当第3四半期における世界経済は、金利の上昇や原油価格の高騰などから米国や中国等で一時的な景気の減速感が見られましたが、欧州も含めて成長を維持しており、総じて減速感は和らぐ気配を見せております。日本では、好調を持続してきたデジタル家電業界などで生産調整が進展し、電子部品市況が急速に悪化するなど一時的な踊り場を迎えていますが、次年度に向けて回復の基調が見られるようになってきております。

国内外のIT投資については、ITテクノロジーの急速な進歩に支えられたグローバルな経済活動の進展に沿って、有力な成長企業を中心としてその投資意欲は旺盛です。一方、国内市場だけを見ると、投資意欲はやはり業種・規模・地域等、個別の企業レベルでまだら模様ですが、全般としてはまだ力強さに欠けた状況が続いています。

電子部品での需給変動のギャップが小さくなりつつあるなど、ITテクノロジーの進歩は、新市場の開拓や新製品の開発だけでなく、価格・品質・納期などビジネスのあらゆる面で競争環境の進化を促しております。IT企業は、こうしたグローバル規模でのテクノロジー・競争環境の変化の本格化に対応して、弛まず事業構造の改革を先取りしていかねばならない状況にあります。

このような状況のもと当社グループの第3四半期の業績は以下の通りです。

### 【第3四半期の概況】

	2004年度 第3四半期 〔2004年10月1日～ 2004年12月31日〕	2003年度 第3四半期 〔2003年10月1日～ 2003年12月31日〕	前年同 期 比		再編影響を除く 継続事業の増減率
			増減率	増減率	
売 上 高	10,436	10,682	▲ 245	▲ 2.3	0.0 %
営 業 利 益	48	101	▲ 53	▲ 52.6	
経 常 利 益	▲ 142	▲ 165	23	-	
当 期 純 利 益	▲ 95	76	▲ 172	-	
一株当たり当期純利益	▲ 4.63	3.83	▲ 8.46	-	

注) 各利益のマイナス(▲)表示は損失であります。

### 【9ヶ月累計の概況】

	2004年度 9ヶ月累計 〔2004年4月1日～ 2004年12月31日〕	2003年度 9ヶ月累計 〔2003年4月1日～ 2003年12月31日〕	前年同 期 比		再編影響を除く 継続事業の増減率
			増減率	増減率	
売 上 高	32,637	32,101	535	1.7	5.4 %
営 業 利 益	381	▲ 78	459	-	
経 常 利 益	▲ 102	▲ 843	741	-	
当 期 純 利 益	▲ 177	▲ 509	331	-	
一株当たり当期純利益	▲ 8.77	▲ 25.45	16.68	-	

注) 各利益のマイナス(▲)表示は損失であります。

## 2. 第3四半期の経営成績及び財政状態、財務諸表等

	第3四半期	前年同期比	継続事業 ベースの 増減率	9ヶ月累計	前年同期比	継続事業 ベースの 増減率
売上高 (増減率)	10,436 億円	▲ 245 億円 (▲ 2.3%)	(0.0%)	32,637 億円	535 億円 (1.7%)	(5.4%)
営業利益	48 億円	▲ 53 億円		381 億円	459 億円	
経常利益	▲ 142 億円	23 億円		▲ 102 億円	741 億円	
当期純利益	▲ 95 億円	▲ 172 億円		▲ 177 億円	331 億円	

### ・セグメント別営業利益

	第3四半期	前年同期比	9ヶ月累計	前年同期比
ソフトウェア・サービス	142 億円	66 億円	298 億円	▲ 67 億円
プラットフォーム	18 億円	17 億円	56 億円	262 億円
電子デバイス	3 億円	▲ 152 億円	349 億円	205 億円

当第3四半期の売上高は1兆436億円、前年同期比で2.3%の減収でしたが再編影響を除いた継続事業ベースではほぼ前年並です。海外で、アウトソーシング、UNIXサーバ、パソコン、光伝送システム、HDDなどの売上が増加しましたが、市況が悪化した半導体やPDP、LCDなどが減少したほか、国内で金融端末装置やサーバ等の売上が伸び悩みました。

営業利益は48億円で前年同期比では53億円の減と売上・利益ともに前年同期とほぼ同じレベルとなりました。海外でのソフトウェア・サービスやプラットフォームビジネスの利益増に加え、国内ではものづくり強化によりコストダウンが進捗し収益が改善しましたが、半導体やPDP、LCDなどの電子部品ビジネスでは価格低下や生産数量の伸び悩みにより利益が大きく減少しました。

売上原価率は、74.3%と前年同期から1.2%増、主に電子デバイスで悪化しましたが、販売費及び一般管理費は効率化を進め前年同期から売上高比で0.7%低下し25.2%となりました。

営業外損益は前年同期より76億円改善しました。金融収支が有利子負債の減少や金利低下の影響で前年同期から15億円の費用減、持分法による投資利益は前年同期の28億円の損失から当第3四半期は6億円の利益と35億円の改善、退職給付積立不足償却額も前年度における株価の上昇や代行返上により45億円の費用減となりました。この結果、経常利益は142億円の損失で、前年同期比で23億円損失が減少しました。

当期純利益は95億円の損失で、約900億円の投資有価証券売却益のあった前年同期からは172億円の悪化です。

【セグメント別の状況】

当第3四半期の外部顧客向け売上高及び営業利益のセグメント別の状況は以下の通りです。

ソフトウェア・サービス

	第3四半期	前年同期 比増減率	継続事業 ベースの 増減率	9ヶ月累計	前年同期 比増減率	継続事業 ベースの 増減率
売上高	4,359 億円	▲ 0.1%	1.4%	13,524 億円	0.5%	1.8%
国内	2,992 億円	▲ 2.8%	▲ 2.8%	9,670 億円	▲ 1.3%	▲ 1.3%
海外	1,366 億円	6.5%	12.2%	3,854 億円	5.2%	10.5%

・売上高の内訳

	第3四半期	前年同期 比増減率	9ヶ月累計	前年同期 比増減率
ソリューション/SI	1,750 億円	▲ 3.6%	5,678 億円	▲ 4.6%
インフラサービス	2,609 億円	2.5%	7,846 億円	4.6%

売上高は4,359億円で継続事業ベースでは前年同期比で1.4%の増収です。

国内では一部の製造業や通信事業者向けなどで売上が増加しましたが、全般的には第3四半期もIT投資回復の力強さに欠けました。一方、海外では再編影響を除くと12.2%の増収です。特に、英国の富士通サービスでの政府系大型アウトソーシング商談が寄与しました。

	第3四半期	前年 同期比	9ヶ月累計	前年 同期比
営業利益	142 億円	66 億円	298 億円	▲ 67 億円

営業利益は142億円と前年同期より66億円の増益でした。国内ビジネスでは継続的な価格低下の圧力に対してコストダウンの努力を重ねたこと、海外では、米国を始め昨年度実施した事業再編による効果に加えて、英国の富士通サービスでアウトソーシングビジネスを中心に利益が拡大したことによります。

2003年度に損失計上した回収不能見込額683億円のうち、当第3四半期中に完了・引渡したものは60億円です。

10月1日には株式交換により富士通サポートアンドサービスを当社の完全子会社としました。両社のサービスメニューをお客様にわかりやすいよう整理統合し、本年1月には都心の複数の拠点に分散していた両社の約2,500名の人員を1つの事業所に集約し、地方でも重複していた両社の地域サービス拠点の統廃合を進めており、個々のお客様にとり最適なLCM(ライフサイクルマネジメント)ビジネスの拡大に向けた人員のシフトを始めています。

当社グループではお客様の経営環境変化にスピードをもって対応するためのフォーメーションの革新をさらに進めており、昨年6月から実施しているソリューションビジネスの営業とSEのフォーメーション革新の一環として、10月1日に四国地区、12月1日に中国地区でそれぞれSE子会社を統合・再編しました。

プラットフォーム

	第3四半期	前年同期 比増減率
売上高	3,753 億円	0.4%
国内	2,412 億円	▲ 5.6%
海外	1,341 億円	13.2%

9ヶ月累計	前年同期 比増減率
11,632 億円	6.0%
7,936 億円	4.4%
3,696 億円	9.6%

・売上高の内訳

	第3四半期	前年同期 比増減率
サーバ関連	808 億円	▲ 4.5%
モバイル・IPネットワーク	398 億円	▲ 14.6%
伝送システム	426 億円	9.5%
パソコン/携帯電話	1,533 億円	0.7%
HDD関連	588 億円	14.2%

9ヶ月累計	前年同期 比増減率
2,548 億円	6.8%
1,428 億円	12.0%
1,237 億円	3.5%
4,793 億円	1.1%
1,626 億円	18.0%

売上高は3,753億円で前年同期比0.4%の増収でした。UNIXサーバは欧州・北米などの海外で販売好調でしたが、国内では今一つ伸び悩んだほか、金融端末装置の新紙幣対応特需も一巡し、サーバ関連全体では減収となりました。また、モバイル・IPネットワークは、好調な第3世代携帯電話基地局が当期は一段落し、前年同期に大口商談があったこともあり減収となりました。

一方、伝送システムでは海外の通信事業者向けが増収となり、パソコンは国内では店頭向けが価格競争の激化により伸び悩んだものの、海外向けはノートを中心に大きく伸びて増収となりました。HDDはノートパソコンやサーバ向けともに好調で二桁の増収となりました。

	第3四半期	前年 同期比
営業利益	18 億円	17 億円

9ヶ月累計	前年 同期比
56 億円	262 億円

営業利益は18億円となり、前年同期比では17億円の利益増でした。伝送システムやIPネットワーク等でものづくり強化によるコストダウンや開発費などの効率化が進捗したほか、パソコンでは、価格低下と物量増が進行するなか生産出荷体制の効率化や購入コストダウンを徹底的に推進致しました。一方、サーバ関連では国内での販売の伸び悩み、金融端末の減収の影響により前年度から利益が減少しました。

当社は12月にシスコシステムズ社とルータ・スイッチ分野で戦略提携することにつき合意しました。通信事業者向けハイエンドルータ用最新OSを共同で開発し、同OSの搭載機器を「Fujitsu-Cisco」ブランドで販売し、IPネットワークの分野でのビジネスを強化してまいります。

IBM社とは自律型システム技術の標準化において協業することで合意しました。異機種が混在しているITシステムにおいては、社会基盤としてのより高度な信頼性や柔軟性、使いやすさを備えたシステムを実現するための技術が求められています。サーバでのインテル社、マイクロソフト社、サン・マイクロシステムズ社などとの提携と同様に今後もグローバルなパートナーと積極的に提携し、ビジネスの強化を進めてまいります。

HDDでは、TDK(株)とのフィリピンでのヘッド製造の合弁会社が12月より事業を開始しました。今後は所要の急拡大が予想されるHDD向けによりタイムリーにヘッドの供給を受けられる体制となりました。

【第3四半期】  
 <富士通グループ 連結>

電子デバイス

	第3四半期	前年同期 比増減率	継続事業 ベースの 増減率	9ヶ月累計	前年同期 比増減率	継続事業 ベースの 増減率
売上高	1,701 億円	▲ 11.0%	▲ 9.4%	5,636 億円	7.2%	13.3%
国内	1,008 億円	0.4%	0.6%	3,208 億円	21.0%	21.4%
海外	692 億円	▲ 23.6%	▲ 20.8%	2,428 億円	▲ 6.9%	4.1%

・売上高の内訳

	第3四半期	前年同期 比増減率	9ヶ月累計	前年同期 比増減率
半導体	964 億円	▲ 7.3%	3,163 億円	10.5%
その他	737 億円	▲ 15.5%	2,473 億円	3.2%

売上高は1,701億円で再編影響を除いた継続事業ベースでも9.4%の減収となりました。ロジックICはデジタル家電の市況軟化や在庫調整の影響を受け一部品種での減少はあるものの、先端商品での受注増等のプラス効果により全体としては堅調に推移しております。一方でフラッシュメモリはアジアを中心とする所要減の影響を受け、受注の伸び悩みや単価下落傾向を受けて売上高が減少傾向となっております。またPDP、LCDについては需給バランス悪化に伴う、価格競争の激化により大幅な減収となりました。

	第3四半期	前年 同期比	9ヶ月累計	前年 同期比
営業利益	3 億円	▲ 152 億円	349 億円	205 億円

営業利益は3億円で、前年同期比152億円の利益減です。PDP、LCD等の売上減少に対してもものづくりを強化し製造の効率化を進め、減収のなかでかろうじて営業利益は黒字となりました。

三重工場の90/65ナノメートル先端テクノロジー用の300ミリメートルウェハ量産工場は建物がほぼ完成し、製造設備の搬入が始まるなど計画通りに建設が進んでおり、最先端テクノロジーに対する需要は順調に増加しています。

(ご参考) セグメント別営業利益の推移

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
ソフトウェア・サービス	▲ 109 億円	264 億円	142 億円
プラットフォーム	▲ 70 億円	108 億円	18 億円
電子デバイス	238 億円	107 億円	3 億円

【資産、負債、資本の状況】

	第3四半期	中間期末比
総資産	35,746 億円	132 億円
有利子負債	11,471 億円	222 億円
株主資本 (株主資本比率)	8,530 億円 ( 23.9 % )	499 億円 ( 1.4 % )
D / E レシオ	1.34 倍	▲ 0.06 倍

当第3四半期末の総資産残高は3兆5,746億円と中間期末に比べて132億円増加しました。

流動資産の残高は1兆6,918億円となり中間期末に比べて356億円減少しました。年度末に集中する売上に対応するため棚卸資産が増加した一方で、中間期の売上の回収により売掛債権が減少したことなどによります。

固定資産の残高は1兆8,828億円となり中間期末に比べて488億円増加しました。保有上場株式の時価上昇により投資その他の資産が増加したことなどによります。

負債の残高は2兆5,630億円とほぼ中間期末並でした。有利子負債の残高は、222億円の増加となりました。社債を11月に1,000億円発行し、借入金の返済を進めました。D / E レシオは株主資本が有利子負債より増加したため、1.34倍と中間期末に比べて0.06改善しました。

株主資本の残高は8,530億円となり中間期末に比べて499億円増加しました。富士通サポートアンドサービスを株式交換により完全子会社化したことにより資本剰余金が501億円増加したことなどによるものです。株主資本比率は23.9%と中間期末に比べて1.4%改善しました。

【キャッシュ・フローの状況】

	第3四半期	前年同期比	9ヶ月累計	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	331 億円	263 億円	833 億円	390 億円
投資キャッシュ・フロー	▲ 421 億円	▲ 1,670 億円	▲ 978 億円	▲ 1,923 億円
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 90 億円	▲ 1,407 億円	▲ 144 億円	▲ 1,532 億円

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年度に比べて大きく増加した中間期の売上の回収により331億円のプラスとなりました。前年同期と比べて263億円の改善です。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に設備投資のための支出であり、421億円でした。前年同期は投資有価証券の売却による収入1,625億円があったため、投資活動によるキャッシュ・フローは大幅な収入減となりました。

フリー・キャッシュ・フローは90億円のマイナスですが、昨年の投資有価証券の売却影響を除けば前年同期比で218億円の改善です。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは124億円のプラスとなりました。社債を1,000億円発行した一方で借入金の返済を進めたことによります。

この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は中間期末に比べて、24億円増の2,153億円となりました。

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)		2003年度 第3四半期 (2003年10月1日～ 2003年12月31日)		前年同期比	
		売上高比		売上高比		増減率
		%		%		%
売上高	1,043,648	100.0	1,068,202	100.0	▲ 24,554	▲ 2.3
売上原価	775,785	74.3	781,634	73.1	▲ 5,849	▲ 0.7
販売費及び一般管理費	263,036	25.2	276,382	25.9	▲ 13,346	▲ 4.8
営業利益	4,827	0.5	10,186	1.0	▲ 5,359	▲ 52.6
営業外損益						
金融収支	▲ 2,295		▲ 3,824		1,529	
持分法による投資利益	665		▲ 2,877		3,542	
退職給付積立不足償却額	▲ 9,792		▲ 14,375		4,583	
その他	▲ 7,667		▲ 5,705		▲ 1,962	
計	▲ 19,089	▲ 1.9	▲ 26,781	▲ 2.6	7,692	-
経常利益	▲ 14,262	▲ 1.4	▲ 16,595	▲ 1.6	2,333	-
特別損益						
投資有価証券売却益	1,006	0.1	90,985	8.5	▲ 89,979	
事業構造改善費用	▲ 2,244	▲ 0.2	▲ 2,735	▲ 0.2	491	
計	▲ 1,238	▲ 0.1	88,250	8.3	▲ 89,488	-
税金等調整前当期純利益	▲ 15,500	▲ 1.5	71,655	6.7	▲ 87,155	-
法人税等	▲ 4,513	▲ 0.4	63,689	6.0	▲ 68,202	
少数株主利益	▲ 1,417	▲ 0.2	314	0.0	▲ 1,731	
当期純利益	▲ 9,570	▲ 0.9	7,652	0.7	▲ 17,222	-

注1) 「金融収支」には受取利息、受取配当金及び支払利息を含めて表示しております。

注2) 「事業構造改善費用」は子会社における人員の削減・再配置並びに資産処分等の費用であります。

(2) セグメント情報

外部顧客に対する売上高

1) 国内、海外別内訳

(単位：百万円)

	2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 第3四半期 (2003年10月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
			増減率(%)	
ソフトウェア・サービス	435,907	436,191	▲ 284	▲ 0.1
国    内	299,222	307,844	▲ 8,622	▲ 2.8
海    外	136,685	128,347	8,338	6.5
プラットフォーム	375,332	373,841	1,491	0.4
国    内	241,228	255,423	▲ 14,195	▲ 5.6
海    外	134,104	118,418	15,686	13.2
電子デバイス	170,163	191,207	▲ 21,044	▲ 11.0
国    内	100,877	100,470	407	0.4
海    外	69,286	90,737	▲ 21,451	▲ 23.6
そ の 他	62,246	66,963	▲ 4,717	▲ 7.0
国    内	51,229	55,919	▲ 4,690	▲ 8.4
海    外	11,017	11,044	▲ 27	▲ 0.2
合          計	1,043,648	1,068,202	▲ 24,554	▲ 2.3
国    内	692,556	719,656	▲ 27,100	▲ 3.8
海    外	351,092	348,546	2,546	0.7

2) 主要製品別内訳

(単位：億円)

	2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 第3四半期 (2003年10月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
			増減率(%)	
ソフトウェア・サービス	4,359	4,361	▲ 2	▲ 0.1
ソリューション/ S I	1,750	1,816	▲ 66	▲ 3.6
インフラサービス	2,609	2,545	64	2.5
プラットフォーム	3,753	3,738	14	0.4
サーバ関連	808	846	▲ 38	▲ 4.5
モバイル・ I Pネットワーク	398	466	▲ 68	▲ 14.6
伝送システム	426	389	37	9.5
パソコン/ 携帯電話	1,533	1,522	11	0.7
HDD関連	588	515	73	14.2
電子デバイス	1,701	1,912	▲ 210	▲ 11.0
半導体	964	1,040	▲ 76	▲ 7.3
その他	737	872	▲ 135	▲ 15.5

【第3四半期】  
 < 富士通グループ 連結 >

事業の種類別セグメント情報

1) 売上高

(単位：百万円)

	2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 第3四半期 (2003年10月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
				増減率(%)
外部顧客に対する売上高	435,907	436,191	▲ 284	▲ 0.1
セグメント間の内部売上高	8,500	8,639	▲ 139	▲ 1.6
ソフトウェア・サービス	444,407	444,830	▲ 423	▲ 0.1
外部顧客に対する売上高	375,332	373,841	1,491	0.4
セグメント間の内部売上高	33,909	46,073	▲ 12,164	▲ 26.4
プラットフォーム	409,241	419,914	▲ 10,673	▲ 2.5
外部顧客に対する売上高	170,163	191,207	▲ 21,044	▲ 11.0
セグメント間の内部売上高	12,661	17,914	▲ 5,253	▲ 29.3
電子デバイス	182,824	209,121	▲ 26,297	▲ 12.6
外部顧客に対する売上高	62,246	66,963	▲ 4,717	▲ 7.0
セグメント間の内部売上高	22,601	33,807	▲ 11,206	▲ 33.1
その他	84,847	100,770	▲ 15,923	▲ 15.8
消 去	▲ 77,671	▲ 106,433	28,762	
合 計	1,043,648	1,068,202	▲ 24,554	▲ 2.3

2) 営業利益 (営業利益率)

(単位：百万円)

	2004年度 第3四半期 (2004年10月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 第3四半期 (2003年10月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
ソフトウェア・サービス	14,294 ( 3.2%)	7,658 ( 1.7%)	6,636 ( 1.5%)	
プラットフォーム	1,822 ( 0.4%)	115 ( 0.0%)	1,707 ( 0.4%)	
電子デバイス	347 ( 0.2%)	15,583 ( 7.5%)	▲ 15,236 ( ▲ 7.3%)	
その他	2,935 ( 3.5%)	1,940 ( 1.9%)	995 ( 1.6%)	
消去 / 全社	▲ 14,571	▲ 15,110	539	
合 計	4,827 ( 0.5%)	10,186 ( 1.0%)	▲ 5,359 ( ▲ 0.5%)	

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2004年度 第3四半期		2004年度中間期		増 減	2003年度	
	(2004年12月末)	構成比	(2004年9月末)	構成比		(2004年3月末)	構成比
資 産 の 部		%		%			%
流 動 資 産	1,691,818	47.3	1,727,437	48.5	▲ 35,619	2,015,574	52.1
現預金及び有価証券	220,617		216,938		3,679	416,929	
売掛債権	619,731		686,865		▲ 67,134	810,469	
棚卸資産	618,814		575,854		42,960	521,126	
その他	232,656		247,780		▲ 15,124	267,050	
固 定 資 産	1,882,868	52.7	1,833,989	51.5	48,879	1,850,015	47.9
有形固定資産	774,535		781,015		▲ 6,480	803,023	
無形固定資産	233,611		212,671		20,940	219,929	
投資その他の資産	874,722		840,303		34,419	827,063	
資 産 合 計	3,574,686	100.0	3,561,426	100.0	13,260	3,865,589	100.0
負 債 の 部							
流 動 負 債	1,450,984	40.6	1,496,153	42.0	▲ 45,169	1,718,062	44.5
買掛債務	686,339		679,273		7,066	796,915	
社債及び短期借入金	258,557		274,633		▲ 16,076	382,749	
その他	506,088		542,247		▲ 36,159	538,398	
固 定 負 債	1,112,029	31.1	1,076,509	30.3	35,520	1,129,890	29.2
社債及び長期借入金	888,604		850,285		38,319	894,372	
その他	223,425		226,224		▲ 2,799	235,518	
負 債 合 計	2,563,013	71.7	2,572,662	72.3	▲ 9,649	2,847,952	73.7
少 数 株 主 持 分	158,632	4.4	185,720	5.2	▲ 27,088	190,460	4.9
資 本 の 部							
資 本 金	324,625	9.1	324,625	9.1	-	324,624	8.4
資 本 剰 余 金	506,130	14.2	455,970	12.8	50,160	455,963	11.8
利 益 剰 余 金	▲ 66,517	▲ 1.9	▲ 50,895	▲ 1.4	▲ 15,622	▲ 35,734	▲ 0.9
その他有価証券/土地再評価差額金	154,386	4.3	134,278	3.7	20,108	153,082	3.9
為替換算調整勘定	▲ 64,431	▲ 1.8	▲ 59,956	▲ 1.7	▲ 4,475	▲ 69,901	▲ 1.8
自己株式	▲ 1,152	▲ 0.0	▲ 978	▲ 0.0	▲ 174	▲ 857	▲ 0.0
資 本 合 計	853,041	23.9	803,044	22.5	49,997	827,177	21.4
負債、少数株主持分及び資本合計	3,574,686	100.0	3,561,426	100.0	13,260	3,865,589	100.0
有 利 子 負 債 残 高	1,147,161	32.1	1,124,918	31.6	22,243	1,277,121	33.0
D / E レ シ オ	1.34倍		1.40倍		▲ 0.06倍	1.54倍	

<ご参考>

(単位：億円)

	2004年度	2003年度	増 減	
	(予想)	(実績)		増減率(%)
設 備 投 資	2,250	1,597	652	40.8
減 価 償 却 費	1,850	2,000	▲ 150	▲ 7.5

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2004年度 第3四半期	2003年度 第3四半期	前年同期比
	(2004年10月1日～ 2004年12月31日)	(2003年10月1日～ 2003年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益	▲ 15,500	71,655	▲ 87,155
減価償却費及び連結調整勘定償却額	56,299	64,775	▲ 8,476
引当金の繰入額(▲ 取崩額)	▲ 655	5,548	▲ 6,203
持分法による投資損失(▲ 利益)	▲ 665	2,877	▲ 3,542
固定資産廃却	2,228	2,191	37
売掛債権の減少(▲ 増加)	62,402	▲ 21,339	83,741
棚卸資産の減少(▲ 増加)	▲ 45,719	▲ 57,956	12,237
買掛債務の増加(▲ 減少)	12,285	65,886	▲ 53,601
その他の	▲ 37,564	▲ 126,833	89,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,111	6,804	26,307
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得	▲ 41,357	▲ 25,139	▲ 16,218
投資有価証券の取得及び売却	4,094	158,441	▲ 154,347
その他の	▲ 4,867	▲ 8,392	3,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 42,130	124,910	▲ 167,040
+ (フリー・キャッシュ・フロー)	▲ 9,019	131,714	▲ 140,733
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
社債及び借入金の増加(▲ 減少)	25,365	▲ 66,800	92,165
配当金の支払額	▲ 6,001	-	▲ 6,001
その他の	▲ 6,890	▲ 12,364	5,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,474	▲ 79,164	91,638
現金及び現金同等物にかかる換算差額	▲ 988	▲ 828	▲ 160
現金及び現金同等物の増減額	2,467	51,722	▲ 49,255
現金及び現金同等物の期首残高	212,860	236,658	▲ 23,798
現金及び現金同等物の期末残高	215,327	288,380	▲ 73,053

### 3. 9ヶ月累計の経営成績、財務諸表等

【概況】

	9ヶ月累計	前年同期比	増減率	再編影響を除く 継続事業の増減率
売上高	32,637 億円	535 億円	1.7 %	5.4 %
営業利益	381 億円	459 億円		
経常利益	▲ 102 億円	741 億円		
当期純利益	▲ 177 億円	331 億円		

<売上高の前年同期比増減率>

	増減率	再編影響を除く 継続事業の増減率	再編影響額 ▲ 1,128億円 <主要な再編の内訳>
売上高計	1.7%	5.4%	・富士通コンサルティングのスペイン事業売却
ソフトウェア・サービス	0.5%	1.8%	・フラッシュメモリ事業の合併化
プラットフォーム	6.0%	6.0%	・化合物半導体事業の合併化
電子デバイス	7.2%	13.3%	・FDK(株)の外部資本との提携
その他 ▲ 3.3%		21.6%	・リース事業の外部資本との提携

注) セグメント別は外部顧客に対する売上高。

当年度の第3四半期末までの9ヶ月累計の売上高は3兆2,637億円となり、継続事業ベースでは前年同期比5.4%の増収となりました。中間期半ばから半導体や薄型ディスプレイパネルの製品市況の急速な悪化はあったものの、第3世代携帯電話基地局や新紙幣対応の金融端末装置のほか、デジタルAV機器向けシステムLSIや電子部品も9ヶ月累計では増収となりました。

営業利益は381億円となり前年同期の78億円の損失から459億円改善しました。売上が好調だった電子デバイスやプラットフォームの増収効果とコストダウンや費用効率化によるものです。

経常利益は102億円の損失となりましたが、前年同期比では741億円の改善です。退職給付積立不足償却額が138億円の費用減となったほか、金融収支や持分法による投資利益が改善しました。

当期純利益は177億円の損失となりましたが、前年同期比では331億円の改善でした。

・セグメント別営業利益

	9ヶ月累計	前年同期比
ソフトウェア・サービス	298 億円	▲ 67 億円
プラットフォーム	56 億円	262 億円
電子デバイス	349 億円	205 億円

ソフトウェア・サービスは海外子会社が好調であったものの、国内では採算性の悪化したプロジェクトに関する新規および追加の損失が発生したことなどにより前年同期比で67億円の減益となりました。

プラットフォームは第3世代携帯電話用基地局や金融端末装置の増収効果やパソコン、HDDのコストダウン効果などにより前年同期比で262億円の改善となりました。

電子デバイスは中間期半ばから半導体やPDP、LCDなどの市況が悪化したものの、9ヶ月累計では前半好調に推移したことにより、前年同期比で205億円の増益となりました。

【 9ヶ月累計】  
< 富士通グループ 連結 >

(1) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)		2003年度 9ヶ月累計 (2003年4月1日～ 2003年12月31日)		前年同期比	
		売上高比		売上高比		増減率
		%		%		%
売 上 高	3,263,707	100.0	3,210,136	100.0	53,571	1.7
売 上 原 価	2,408,702	73.8	2,358,088	73.4	50,614	2.1
販売費及び一般管理費	816,893	25.0	859,852	26.8	▲ 42,959	▲ 5.0
営 業 利 益	38,112	1.2	▲ 7,804	▲ 0.2	45,916	-
営 業 外 損 益						
金 融 収 支	▲ 6,649		▲ 11,579		4,930	
持分法による投資利益	5,189		▲ 2,459		7,648	
退職給付積立不足償却額	▲ 29,487		▲ 43,313		13,826	
そ の 他	▲ 17,400		▲ 19,183		1,783	
計	▲ 48,347	▲ 1.5	▲ 76,534	▲ 2.4	28,187	-
経 常 利 益	▲ 10,235	▲ 0.3	▲ 84,338	▲ 2.6	74,103	-
特 別 損 益						
投資有価証券売却益	3,491	0.1	125,455	3.9	▲ 121,964	
事業構造改善費用	▲ 6,843	▲ 0.2	▲ 7,409	▲ 0.2	566	
災 害 損 失	-	-	▲ 4,700	▲ 0.2	4,700	
そ の 他	-	-	▲ 8,435	▲ 0.3	8,435	
計	▲ 3,352	▲ 0.1	104,911	3.2	▲ 108,263	-
税金等調整前当期純利益	▲ 13,587	▲ 0.4	20,573	0.6	▲ 34,160	-
法 人 税 等	▲ 833	▲ 0.0	67,476	2.1	▲ 68,309	
少 数 株 主 利 益	4,977	0.1	4,007	0.1	970	
当 期 純 利 益	▲ 17,731	▲ 0.5	▲ 50,910	▲ 1.6	33,179	-

注1) 「金融収支」には受取利息、受取配当金及び支払利息を含めて表示しております。

注2) 「事業構造改善費用」は子会社における人員の削減・再配置並びに資産処分等の費用であります。

(2) セグメント情報

外部顧客に対する売上高

1) 国内、海外別内訳

(単位：百万円)

	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 9ヶ月累計 (2003年4月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
				増減率(%)
ソフトウェア・サービス	1,352,419	1,345,516	6,903	0.5
国内	967,003	979,306	▲ 12,303	▲ 1.3
海外	385,416	366,210	19,206	5.2
プラットフォーム	1,163,270	1,097,662	65,608	6.0
国内	793,601	760,442	33,159	4.4
海外	369,669	337,220	32,449	9.6
電子デバイス	563,663	525,953	37,710	7.2
国内	320,837	265,122	55,715	21.0
海外	242,826	260,831	▲ 18,005	▲ 6.9
金融	-	50,391	▲ 50,391	-
国内	-	50,391	▲ 50,391	-
海外	-	-	-	-
その他	184,355	190,614	▲ 6,259	▲ 3.3
国内	149,175	156,901	▲ 7,726	▲ 4.9
海外	35,180	33,713	1,467	4.4
合計	3,263,707	3,210,136	53,571	1.7
国内	2,230,616	2,212,162	18,454	0.8
海外	1,033,091	997,974	35,117	3.5

2) 主要製品別内訳

(単位：億円)

	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 9ヶ月累計 (2003年4月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
				増減率(%)
ソフトウェア・サービス	13,524	13,455	69	0.5
ソリューション/SI	5,678	5,953	▲ 275	▲ 4.6
インフラサービス	7,846	7,502	344	4.6
プラットフォーム	11,632	10,976	656	6.0
サーバ関連	2,548	2,386	162	6.8
モバイル・IPネットワーク	1,428	1,275	153	12.0
伝送システム	1,237	1,195	42	3.5
パソコン/携帯電話	4,793	4,742	51	1.1
HDD関連	1,626	1,378	248	18.0
電子デバイス	5,636	5,259	377	7.2
半導体	3,163	2,863	300	10.5
その他	2,473	2,396	77	3.2

【 9ヶ月累計】  
< 富士通グループ 連結 >

事業の種類別セグメント情報

1) 売上高

(単位：百万円)

	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 9ヶ月累計 (2003年4月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
				増減率(%)
外部顧客に対する売上高	1,352,419	1,345,516	6,903	0.5
セグメント間の内部売上高	26,295	40,506	▲ 14,211	▲ 35.1
ソフトウェア・サービス	1,378,714	1,386,022	▲ 7,308	▲ 0.5
外部顧客に対する売上高	1,163,270	1,097,662	65,608	6.0
セグメント間の内部売上高	109,214	150,251	▲ 41,037	▲ 27.3
プラットフォーム	1,272,484	1,247,913	24,571	2.0
外部顧客に対する売上高	563,663	525,953	37,710	7.2
セグメント間の内部売上高	45,352	50,914	▲ 5,562	▲ 10.9
電子デバイス	609,015	576,867	32,148	5.6
外部顧客に対する売上高	-	50,391	▲ 50,391	-
セグメント間の内部売上高	-	4,027	▲ 4,027	-
金融	-	54,418	▲ 54,418	-
外部顧客に対する売上高	184,355	190,614	▲ 6,259	▲ 3.3
セグメント間の内部売上高	73,833	100,153	▲ 26,320	▲ 26.3
その他	258,188	290,767	▲ 32,579	▲ 11.2
消 去	▲ 254,694	▲ 345,851	91,157	
合 計	3,263,707	3,210,136	53,571	1.7

2) 営業利益 (営業利益率)

(単位：百万円)

	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 9ヶ月累計 (2003年4月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比	
ソフトウェア・サービス	29,835 ( 2.2%)	36,548 ( 2.6%)	▲ 6,713 ( ▲ 0.4%)	
プラットフォーム	5,603 ( 0.4%)	▲ 20,600 ( ▲ 1.7%)	26,203 ( 2.1%)	
電子デバイス	34,924 ( 5.7%)	14,365 ( 2.5%)	20,559 ( 3.2%)	
金融	- ( -)	2,007 ( 3.7%)	▲ 2,007 ( -)	
その他	9,689 ( 3.8%)	6,971 ( 2.4%)	2,718 ( 1.4%)	
消去/全社	▲ 41,939	▲ 47,095	5,156	
合 計	38,112 ( 1.2%)	▲ 7,804 ( ▲ 0.2%)	45,916 ( 1.4%)	

(3) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	2004年度 9ヶ月累計 (2004年4月1日～ 2004年12月31日)	2003年度 9ヶ月累計 (2003年4月1日～ 2003年12月31日)	前年同期比
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前当期純利益	▲ 13,587	20,573	▲ 34,160
減価償却費及び連結調整勘定償却額	169,806	202,091	▲ 32,285
引当金の繰入額(▲ 取崩額)	▲ 4,546	7,867	▲ 12,413
持分法による投資損失(▲ 利益)	▲ 5,189	2,459	▲ 7,648
固定資産廃却	12,822	11,722	1,100
売掛債権の減少(▲ 増加)	175,832	57,808	118,024
棚卸資産の減少(▲ 増加)	▲ 102,174	▲ 118,250	16,076
買掛債務の増加(▲ 減少)	▲ 101,343	54,579	▲ 155,922
その他の	▲ 48,314	▲ 194,621	146,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	83,307	44,228	39,079
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得	▲ 102,277	▲ 93,905	▲ 8,372
投資有価証券の取得及び売却	15,186	217,693	▲ 202,507
その他の	▲ 10,714	▲ 29,230	18,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 97,805	94,558	▲ 192,363
+ (フリー・キャッシュ・フロー)	▲ 14,498	138,786	▲ 153,284
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
社債及び借入金の増加(▲ 減少)	▲ 131,241	▲ 106,234	▲ 25,007
配当金の支払額	▲ 12,001	-	▲ 12,001
その他の	▲ 29,094	▲ 23,567	▲ 5,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 172,336	▲ 129,801	▲ 42,535
現金及び現金同等物にかかる換算差額	322	▲ 2,938	3,260
現金及び現金同等物の増減額	▲ 186,512	6,047	▲ 192,559
現金及び現金同等物の期首残高	413,826	282,333	131,493
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	▲ 11,987	-	▲ 11,987
現金及び現金同等物の期末残高	215,327	288,380	▲ 73,053

#### 4. 2004年度の業績見通し(連結・単独)

当社の業績は、第3四半期に減速したものの、主にハードの売上好調による増収効果や、ものづくり強化によるコストダウン、昨年度に実施した海外事業の再編効果等により、ここまでの9ヶ月間の営業損益は、前年同期比で450億円を超える大きな改善です。

電子デバイスについては中間期途中から携帯電話、デジタル家電業界を中心とした市場軟化がみられフラッシュメモリ等の収益に影響を与える見込みですが、主力のロジックICの収益への影響は限定的なものと見込んでおります。一方、薄型ディスプレイパネル市場は需給バランス悪化による厳しい価格競争に突入しており、こちらは当面の間市況の回復が望めない状況にあります。

また、ソフトウェア・サービスにおいては、不採算プロジェクトへの対応として、事前監査機能の強化、進行基準の導入のための評価を進めるなどのプロジェクト管理を強化すると共に、SDASやTRIOLEのコンセプトに基づいて品質と生産効率の向上を図っています。また営業とSEの組織を一体化してお客様別に再編するなど再発防止への枠組みを強化しており、収益基盤は確実に強化されてきております。一方、市場ではソフトウェア・サービスビジネスの価格競争が引き続いており、採算性の回復は緩やかなものとなっております。

この結果、当年度の通期の業績について以下の通り修正致します。

市況悪化に伴う半導体、ディスプレイの減収影響や国内販売の伸び悩みを織り込み、売上高を4兆8,000億円としました。

ディスプレイを中心とした電子デバイスの減収の影響に加えて、ソフトウェア・サービスビジネスでは国内ソリューション/SIでのプロジェクトの採算性の悪化および期末集中型の社会システム商談の減少等の影響を織り込み、営業利益を1,700億円に、経常利益を950億円に、当期純利益を550億円にそれぞれ修正致します。

合わせて単独決算の通期業績につきましても、半導体の減収影響や国内販売の伸び悩みを織り込み、売上高を2兆8,300億円とし、半導体及び国内ソリューション/SIの損益悪化を織り込み、営業利益を450億円に、経常利益を350億円に、当期純利益を280億円にそれぞれ修正致します。

##### 【通期(連結)】

	2004年度 (予想)	10月 公表比	2003年度 (実績)
売上高	48,000	▲ 1,000	47,668
営業利益	1,700	▲ 300	1,503
経常利益	950	▲ 250	497
当期純利益	550	▲ 150	497

##### 【通期(単独)】

(単位：億円)

	2004年度 (予想)	10月 公表比	2003年度 (実績)
売上高	28,300	▲ 500	27,885
営業利益	450	▲ 250	329
経常利益	350	▲ 200	383
当期純利益	280	▲ 120	170

この資料に記載した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。実際の結果・業績または事象に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます(但しここに記載したものはあくまでも例であり、これらに限られるものではありません)。

- ・ 主要市場における景気動向(特に日本、北米、欧州)
- ・ ハイテク市場における変動性(特に半導体、パソコン、携帯電話など)
- ・ 為替動向、金利変動
- ・ 資本市場の動向
- ・ 価格競争の激化
- ・ 技術開発競争による市場ポジションの変化
- ・ 部品調達環境の変化
- ・ 提携、アライアンス、技術供与による競争関係の変化
- ・ 不採算プロジェクト発生の可能性

## 5. 補足資料

< 富士通グループ 連結 >

### (1) セグメント情報

外部顧客に対する売上高

#### 1) 国内、海外別内訳

(単位：億円)

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	前年比	
	10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
ソフトウェア・サービス	21,200	21,200	-	20,942	257	1.2
国内	15,900	15,800	▲ 100	15,808	▲ 8	▲ 0.1
海外	5,300	5,400	100	5,134	265	5.2
プラットフォーム	17,400	17,000	▲ 400	16,081	918	5.7
国内	12,200	11,900	▲ 300	11,504	395	3.4
海外	5,200	5,100	▲ 100	4,577	522	11.4
電子デバイス	8,000	7,400	▲ 600	7,343	56	0.8
国内	4,500	4,200	▲ 300	3,784	415	11.0
海外	3,500	3,200	▲ 300	3,558	▲ 358	▲ 10.1
金融	-	-	-	503	▲ 503	-
国内	-	-	-	503	▲ 503	-
海外	-	-	-	-	-	-
その他	2,400	2,400	-	2,797	▲ 397	▲ 14.2
国内	2,000	2,000	-	2,181	▲ 181	▲ 8.3
海外	400	400	-	616	▲ 216	▲ 35.1
合計	49,000	48,000	▲ 1,000	47,668	331	0.7
国内	34,600	33,900	▲ 700	33,782	117	0.3
海外	14,400	14,100	▲ 300	13,886	213	1.5

#### 2) 主要製品別内訳

(単位：億円)

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	前年比	
	10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
ソフトウェア・サービス	21,200	21,200	-	20,942	257	1.2
ソリューション/SI	9,400	9,400	-	9,700	▲ 300	▲ 3.1
インフラサービス	11,800	11,800	-	11,242	558	5.0
プラットフォーム	17,400	17,000	▲ 400	16,081	918	5.7
サーバ関連	3,950	3,900	▲ 50	3,656	244	6.7
モバイル・IPネットワーク	2,100	2,050	▲ 50	2,072	▲ 22	▲ 1.1
伝送システム	2,000	1,900	▲ 100	1,674	226	13.5
パソコン/携帯電話	7,000	6,900	▲ 100	6,809	91	1.3
HDD関連	2,350	2,250	▲ 100	1,870	380	20.3
電子デバイス	8,000	7,400	▲ 600	7,343	56	0.8
半導体	4,300	4,200	▲ 100	4,039	161	4.0
その他	3,700	3,200	▲ 500	3,304	▲ 104	▲ 3.1

事業の種類別セグメント情報

1) 売上高

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	前年比	
	10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
外部顧客に対する売上高	21,200	21,200	-	20,942	257	1.2
セグメント間の内部売上高	400	400	-	521	▲ 121	▲ 23.2
ソフトウェア・サービス	21,600	21,600	-	21,463	136	0.6
外部顧客に対する売上高	17,400	17,000	▲ 400	16,081	918	5.7
セグメント間の内部売上高	1,600	1,500	▲ 100	2,247	▲ 747	▲ 33.2
プラットフォーム	19,000	18,500	▲ 500	18,328	171	0.9
外部顧客に対する売上高	8,000	7,400	▲ 600	7,343	56	0.8
セグメント間の内部売上高	700	600	▲ 100	703	▲ 103	▲ 14.7
電子デバイス	8,700	8,000	▲ 700	8,046	▲ 46	▲ 0.6
外部顧客に対する売上高	-	-	-	503	▲ 503	-
セグメント間の内部売上高	-	-	-	40	▲ 40	-
金融	-	-	-	544	▲ 544	-
外部顧客に対する売上高	2,400	2,400	-	2,797	▲ 397	▲ 14.2
セグメント間の内部売上高	1,000	1,000	-	1,385	▲ 385	▲ 27.8
その他	3,400	3,400	-	4,182	▲ 782	▲ 18.7
消去	▲ 3,700	▲ 3,500	200	▲ 4,897	1,397	
合計	49,000	48,000	▲ 1,000	47,668	331	0.7

2) 営業利益(営業利益率)

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	前年比	
	10月時予想	今回予想	差異		増減率(%)	
ソフトウェア・サービス	1,550 ( 7.2%)	1,400 ( 6.5%)	▲ 150 ( ▲ 0.7%)	1,387 ( 6.5%)	12 ( -%)	
プラットフォーム	450 ( 2.4%)	450 ( 2.4%)	- ( -%)	292 ( 1.6%)	157 ( 0.8%)	
電子デバイス	500 ( 5.7%)	350 ( 4.4%)	▲ 150 ( ▲ 1.3%)	275 ( 3.4%)	74 ( 1.0%)	
金融	- ( -)	- ( -)	- ( -)	20 ( 3.7%)	▲ 20 ( -)	
その他	150 ( 4.4%)	150 ( 4.4%)	- ( -%)	136 ( 3.3%)	13 ( 1.1%)	
消去/全社	▲ 650	▲ 650	-	▲ 608	▲ 41	
合計	2,000 ( 4.1%)	1,700 ( 3.5%)	▲ 300 ( ▲ 0.6%)	1,503 ( 3.2%)	196 ( 0.3%)	

(2) パソコンの出荷台数

地域別内訳

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
国内	265	265	-	258
海外	452	452	-	396
合計	717	717	-	654

(単位：万台)

構成比率

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
デスクトップ	48%	47%	▲ 1%	46%
ノートブック	52%	53%	1%	54%

(3) 携帯電話の出荷台数

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
出荷台数	323	323	-	337

(単位：万台)

(4) HDDの生産台数

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
生産台数	2,000	2,000	-	1,247

(単位：万台)

(5) 電子デバイスの状況

半導体売上高

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	
	10月時予想	今回予想	差異	増減率(%)	
半導体売上高	4,800	4,700	▲ 100	4,534	3.7
(うち社内向け)	( 500)	( 500)	( -)	( 495)	( 1.0)

(単位：億円)

半導体品種別売上比率

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
ロジック	72%	73%	1%	63%
システムメモリ	28%	27%	▲ 1%	31%
化合物半導体他	0%	0%	-%	6%

設備投資の内訳

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	
	10月時予想	今回予想	差異	増減率(%)	
連結設備投資	950	900	▲ 50	593	51.7
半導体	550	500	▲ 50	301	66.1
PDP	180	180	-	107	67.4

(単位：億円)

(6) 研究開発費

(単位:億円)

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	増減率(%)
	10月時予想	今回予想	差異		
研究開発費	2,550	2,450	▲ 100	2,509	▲ 2.4
売上高比	5.2%	5.1%	▲ 0.1%	5.3%	

(7) 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)	増減率(%)
	10月時予想	今回予想	差異		
ソフトウェア・サービス	700	700	-	540	29.5
プラットフォーム	450	400	▲ 50	324	23.3
電子デバイス	950	900	▲ 50	593	51.7
全社共通他	250	250	-	139	78.9
設備投資合計	2,350	2,250	▲ 100	1,597	40.8
内 国 内	1,850	1,700	▲ 150	1,353	25.6
外 国 外	500	550	50	244	124.9
減価償却費	1,850	1,850	-	2,000	▲ 7.5

(8) 為替レート(USドル):業績予想前提レート

	2004年度第4四半期(予想)		
	10月時予想	今回予想	差異
業績予想前提レート	110円	105円	▲ 5円

(9) キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2004年度(予想)			2003年度 (実績)
	10月時予想	今回予想	差異	
当期純利益	700	550	▲ 150	497
減価償却費*	2,600	2,600	-	2,929
その他増減	300	350	50	▲ 386
(A)営業キャッシュ・フロー	3,600	3,500	▲ 100	3,040
(B)投資キャッシュ・フロー	▲ 2,600	▲ 2,500	100	673
(C)フリー・キャッシュ・フロー (A)+(B)	1,000	1,000	-	3,714
(D)財務キャッシュ・フロー	▲ 2,300	▲ 2,300	-	▲ 2,399
(E)キャッシュ・フロー計 (C)+(D)	▲ 1,300	▲ 1,300	-	1,315

\* 連結調整勘定償却費を含む